

作成年月日	令和3年10月27日
作成部局	但馬県民局地域政策室

「第6回コウノトリ未来・国際かいぎ」の開催

1 趣旨

コウノトリ野生復帰を真に実現していくため、豊岡で蓄えられた知見や研究の成果、また、国内外で進められている取組みの成果や課題を共有し、互いに知恵を出し合いながら連携を深めることを目的に、国際的な会議を開催します。

2 概要

- (1) 日時 令和3年10月30日（土）～31日（日）
- (2) 場所 豊岡市民会館（豊岡市立野町20-34）
- (3) テーマ つながる！ ～いのち・地域・こころ～
- (4) イベント形式 来場及びオンライン参加
- (5) 定員 500人
- (6) 主催 兵庫県、豊岡市
- (7) 開催内容



[1日目]

- ア 基調講演・「いのちをつなぐ共生社会—ゴリラに学ぶ」
山極壽一氏（総合地球環境学研究所所長・京都大学名誉教授）
- イ 話題提供・「コウノトリ国内個体群の復活に成功」
江崎保男氏（兵庫県立コウノトリの郷公園園長）
・「鳥類の再導入の歴史について」
フィリップ・セドン氏（オtago大学教授/ニュージーランド）※オンライン出演
・「韓国のコウノトリ再導入個体群の遺伝的管理」
キム・スギョン氏（禮山コウノトリ公園主任研究員/韓国）※オンライン出演 他
- ウ 鼎談等・「共生社会を目指して」
中瀬勲氏（兵庫県立人と自然の博物館館長）
福岡伸一氏（青山学院大学教授） 他

[2日目]

- ア 講演・「生きものとともにつくるアート」
AKI INOMATA 氏（美術家）
- イ 発表等・「私たちの未来」
コウノトリに関わる県内外の若者達による発表・ディスカッション

3 新型コロナウイルス感染症対策

- ・マスクの着用、検温、手指の消毒、会話を控える
- ・「接触確認アプリ(COCoA)」のインストール、「兵庫県新型コロナウイルス追跡システム」への登録依頼

4 公式サイト

https://toyooka-kounotori.com/6th_int-conf-fut-of-ows/

【問い合わせ先】 但馬県民局地域政策室地域づくり課 TEL：0796-26-3674

10.30 (土) Sat

コウノトリは私たちの周りで日常的にみられるようになりました。繁殖地も豊岡から全国に広がってきました。コウノトリが200羽を超え、人の暮らしとの関係など、新たな課題も生まれてきています。これまでの野生復帰の取組みを振り返り、これからの野生復帰の未来を議論する「第6回コウノトリ未来・国際かいぎ」を開催します。

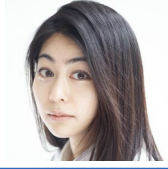
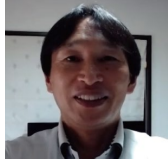

DAY1

10:30	開会宣言 主催者挨拶 来賓祝辞	奥野卓司(第6回コウノトリ未来・国際かいぎ実行委員長、(公財)山階鳥類研究所所長) 齋藤元彦(兵庫県知事)、関貴久仁郎(豊岡市長)	
11:10	基調講演「いのちをつなぐ共生社会—ゴリラに学ぶ」 山極壽一 (総合地球環境学研究所所長・京都大学名誉教授)		山極壽一
12:00	昼食		
13:00	セッションI「コウノトリの未来」 野生復帰個体群は順調な回復を遂げているが、その長期的な存続のために欠かさない2つの課題である「遺伝的管理」と「生息地管理」の重要性について議論します。 《進行》 出口智広 (兵庫県立大学大学院地産教授)		江崎保男
	話題提供 「コウノトリ国内個体群の復活に成功」 江崎保男 (兵庫県立コウノトリの郷公園園長) 「A brief history of bird reintroductions (鳥類の再導入の歴史について)」 フィリップ・セドン (オタゴ大学教授/ニュージーランド) ※オンライン出演 「The genetic management of released Oriental Stork Population S. Korea (韓国のコウノトリ再導入個体群の遺伝的管理)」 キム・スギョン (釜山コウノトリ公園主任研究員/韓国) ※オンライン出演 「日本のコウノトリ再導入個体群の遺伝的管理」 内藤和明 (兵庫県立大学大学院准教授) 「採餌環境整備の全国展開と今後」 佐川志朗 (兵庫県立大学大学院教授)		内藤和明
	ディスカッション「今後どのような具体的活動が求められるか」 《パネリスト》河口洋一 (徳島大学大学院准教授)、長谷川雅美 (東邦大学教授)、江崎保男、内藤和明、佐川志朗		
15:00	休憩		
15:20	セッションII「共生社会を目指して」 国内だけでなくロシア・中国・韓国でもコウノトリは増えており、人とコウノトリが如何にして共生していくかが問われています。各国の現状を踏まえ、共生する社会のヒントを探っていきます。 鼎談「命への共感：人と生きものは如何にして共生できるか」 中瀬勲 (兵庫県立人と自然の博物館館長) 福岡伸一 (青山学院大学教授) あん・まくどなと (上智大学教授)		中瀬勲
	話題提供 「コウノトリ野生復帰への挑戦」 川端啓介 (豊岡市コウノトリ共生部長) 「渡良瀬、そしてコウノトリ～地域の思いをつないで～」 浅野正富 (栃木県小山市市長) 「自然共生社会に向けた国内外の潮流」 奥田直久 (環境省自然環境局長)		福岡伸一
	ディスカッション「共生の社会を目指して」 《パネリスト》 福岡伸一、あん・まくどなと、関貴久仁郎 ほか		
17:45	DAY1 終了		

10.31 (日) Sun

豊岡でコウノトリを放鳥してから15年、当時小学生だった子どもたちはすっかり大人になりました。コウノトリがいる風景の中で育った若者たちが、これからのまちの姿を考えます。

DAY2

09:05	講演「生きものとともにつくるアート」 AKI INOMATA (美術家)		AKI INOMATA
09:50	休憩		
10:00	セッションIII「私たちの未来」 コウノトリが繋いだ地域の子どもたちが集まり、コウノトリと共に暮らすまちの未来を話し合います。 コウノトリが暮らす地域の取組み 《進行》 中村大輔 (ラムサールセンター副会長) 《発表》 栃木県小山市、千葉県野田市、福井県越前市、鳥取県雲南市、豊岡市の子どもたち ディスカッション「コウノトリも暮らすまちの未来」 《進行》 菊地直樹 (金沢大学准教授) 《パネリスト》 栃木県小山市：安達晃太 (大学生)、千葉県野田市：和田拓也 (市職員)、福井県越前市：北山正太郎 (高校生)、鳥取県雲南市：上代美瑚 (高校生)、豊岡市：田中宏武 (大学生)、太田里沙 (大学生) ※一部オンライン出演		中村大輔
			菊地直樹
12:00	エンディング ・未来に向けて 柳生博 (コウノトリファンクラブ会長、(公財)日本野鳥の会会長) ・兵庫・豊岡宣言		
12:15	DAY2 終了		

特別企画

10.30 (土) Sat 18:00~21:00

市民交流会 ~TSUNAGARU ミニフェス~

特別企画！豊岡市役所前市民広場でアーティストによる演奏を聞きながら、国際かいぎの夜を楽しむ小さなフェスを開催します。詳細は国際かいぎホームページやSNSでお知らせします。

【会場】市役所前市民広場・豊岡稽古堂

- <ナイトマーケット> 個性豊かな地元の飲食店が出展予定！ <ミニライブ> 蔡忠浩さんによる野外アコースティックライブ！
- <#コウノトリでつながる写真展> “#コウノトリでつながる写真展”をつけてInstagramに写真を投稿しよう！当日は会場内にみなさんが投稿した写真を展示！
- <がっせえアート展> 描かずにはいられない、作らずにはいられない衝動。まさしく「がっせえ」作品を展示！
※「がっせえ」は但馬の方言で「すごい」という意味

